

CVF-78HC／CVF-1376HC簡易点検の点検方法(例)

[フロン排出抑制法対象外]

1. 「温度」の確認

設定温度に対して、庫内温度が大幅にずれていないかを確認。
±3℃以内を目安。
但し、扉の開閉直後や収納物の出し入れがあった後は温度が上がる。

2. 「油漏れ」の確認

製品本体周囲から油漏れ(油にじみ)がないか確認。
CVF-78HC・・・本体の床面、背面コンデンサー配管
CVF-1376HC・・・背面コンデンサー配管、機械室配管

3. 「異常音」の確認

製品から異常音(通常とは異なる音)が発生していないか確認。
冷却運転中の冷凍機やファンモーターの運転音確認。(CVF-78HCのみファンモーター有り)
カランカラン、ガラガラ、キュルキュル、ガー等の大きな音はしていないか。

4. 「外観異常」の確認

扉にがたつきはないか。扉パッキンと本体に隙間はないか。扉パッキンに亀裂はないか。
電源プラグ差込部の浮き。電源プラグ及びケーブル傷。電源プラグの異常熱。
他、製品本体各所の損傷、腐食がないかを確認(確認できる範囲)

5. 「霜付状況」の確認

庫内・扉周りに過度な霜付がないか確認。霜は霜取用ヘラで除霜する。
(但し、冷凍製品は異常がなくても霜が付きます。)

6. 「設置状況」の確認

放熱スペース(背面150mm・側面100mm確保)、直射日光、周囲温度(30℃以下)
単独電源であることを確認する。

**注意: 上記、何れの点検の場合においても、機械室内の部品等には触れないように注意する。
火傷(高温箇所)や指を切る(鋭利箇所)ことが懸念される。**

CVF-78HC



CVF-1376HC



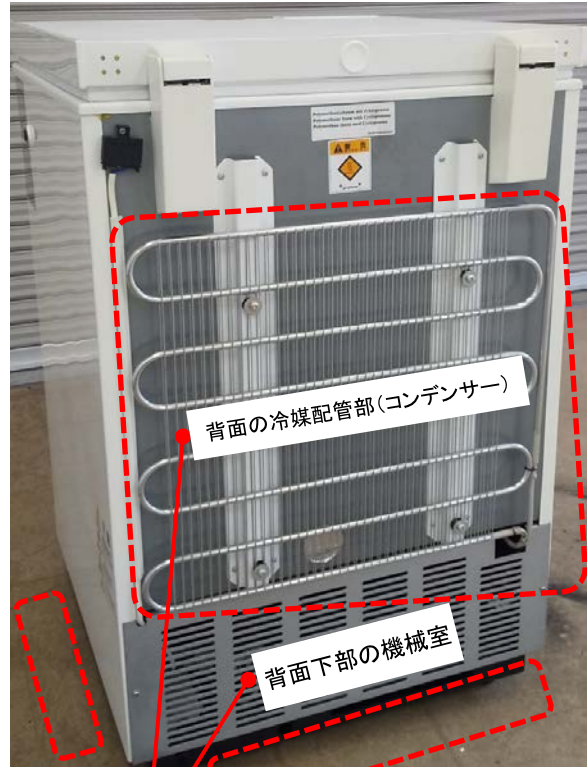
CVF-78HC 簡易点検例

前面



製品の周囲・機械室
(油漏れの確認)

背面



背面の冷媒配管部(コンデンサー)
背面下部の機械室
(油漏れ、異常音、外観の確認)



庫内・内蓋周り
(外観、霜付の確認)
扉閉時にパッキンに隙間がない



操作部
(温度の確認)

CVF-1376HC 簡易点検例

前面

背面



製品の周囲・機械室
(油漏れの確認)

背面の冷媒配管部(コンデンサー)
背面下部の機械室
(油漏れ、異常音、外観の確認)



操作部
(温度の確認)

庫内・扉周り
(外観、霜付の確認)
扉閉時にパッキンに隙間がない